

今これ！とくしまボックス「次期『総合計画』へのご意見募集」の募集結果一覧

1 意見募集期間 令和5年9月19日（火）～10月10日（火）

2 意見件数 75件

総論

番号	年代	テーマ	ご意見
1	30代	次期	「四国広域連合」を発足する
2	30代	次期「総合計画」	徳島県が東京一極集中主義を打破し、多極分散型国土軸の形成を図る。⇒「太平洋新国土軸」、「西日本国土軸」（関西広域連合・四国広域連合・中国広域連合・九州広域行政機構）
3	30代	次期「総合計画」	徳島県が日本一になる。 NO1になる。
4	30代	次期「総合計画」	徳島県が「世界の中の徳島県」になる。徳島県が「世界の中心地の徳島県」になる。
5	30代	次期「総合計画」	徳島県が「シンク・ローカル」、「アクト・グローバル」の政策実行を行う。
6	30代	次期「総合計画」	徳島県が一貫したプロジェクト・マネジメント・マーケティングを行う。
7	30代	次期「総合計画」	徳島県が徳島県民一人一人に寄り添って、徳島県民一人一人を起点として、徳島県民一人一人と歩む政策の推進で、徳島県民一人一人が幸福の向上ができるようにする。
8	30代	次期「総合計画」	徳島県の次期「総合計画」の目標管理は、徳島県民一人一人が輝き・持続可能な未来を築く 新たな とくしまにする。
9	60代	次期総合の策定に向けて	「市町村主役の県政」は、知事公約の柱の一つだが、政策集のどこにもない。「第1章 県政運営の方向性」の中の「県政の方向性」にも見あたらない。「県民主役」「県民目線」「現場主義」のフレーズは明記されているが…。第1章に「市町村主役」のフレーズを入れるべきであり、各論でも1項目起こすべきと思う。その上で、総合計画には、南部、西部など圏域毎の地域振興の方向性や具体の施策について、1項目起こし明記すべき。また、策定に当たっては、全市町村長から意見を聴取し、総合計画に位置づける手法を取り入れて欲しい。知事の覚悟を示してもらいたい。

徳島新未来創生に向けた教育再生

番号	年代	テーマ	ご意見
10	30代	次期「総合計画」	徳島県が慶応義塾大学本部事務局の協力を得て「慶応義塾大学徳島中等教育学校」を開校する。
11	30代	次期「総合計画」	徳島県が徳島大学本部事務局と一体となって「徳島県大学における総合大学化」の推進を行う。 ⇒徳島大学総合科学部を学部改組して、徳島大学に法学部・経済学部・商学部・文学部・総合政策学部・情報科学部を設置する。医学部保健学科を看護医療学部へと学部への独立を行う。
12	30代	次期「総合計画」	徳島県が慶応義塾大学本部事務局の協力を得て、徳島県に慶応義塾大学通信教育学部(法学部・経済学部・文学部)のICTサテライト・オフィス徳島事務所を開設する。
13	30代	次期「総合計画」	徳島県が鳴門教育大学事務局と一体となって、鳴門教育大学のキャンパスの敷地内に「鳴門教育大学附属鳴門中等教育学校」の開校を行う。
14	10代以下	県内の塾代の補助についての請願	県内では、たくさんの塾や予備校があります。私は塾に行きたいですが、金銭的に難しいところです。どうか、大阪府等県外でも行われている「所得制限の無い塾代の補助」を検討いただきたいと思います。金銭的理由で学びを諦めたくありません。どうかよろしく願いいたします。
15	30代	次期「総合計画」	徳島県が世界の名門大学(オックスフォード大学・ハーバード大学・ケンブリッジ大学・スタンフォード大学・マサチューセッツ工科大学・カリフォルニア工科大学・プリンストン大学・イエール大学等)を徳島県に誘致開学させる。⇒2023年最新版

徳島新未来創生に向けた教育再生

番号	年代	テーマ	ご意見
16	30代	次期「総合計画」	徳島県立徳島北高等学校を徳島県立徳島国際高等学校にする。⇒東京都立国際高等学校、神奈川県立横浜国際高等学校、兵庫県立国際高等学校など
17	30代	次期「総合計画」	徳島県と徳島県教育委員会が一体となって、徳島県立富岡東高等学校と徳島県立富岡東中学校を一元統合化して富岡東中等教育学校にする。徳島県と徳島県教育委員会が一体となって、川島県立川島高等学校と徳島県立川島中学校を一元統合化して徳島県立川島中等教育学校にする。
18	40代	教育について	子供の人口が減っているにも関わらず、不登校児は年々増えて来ています！また子供の自殺も深刻な問題となっています！なぜ不登校児が増えているのか？なぜ自殺する子供が増えているのか？もっと徹底的に追求して調査して、改善して頂きたいです。次世代を担う子供たちがこんな状態では、明るい徳島県は望めません！よろしくお願ひします。
19	40代	食について	食についても安全安心な食が守られているのか、もっと調べて対応して頂きたいです。特に学校給食については、もっと考えて頂きたいです。最近栄養価が足りていないとかよく耳にしますが、栄養価も大切ですが安心して食べられる給食を提供してもらいたいです。入札で1番安い業者を選ばなくても良いと思います。安いということは、それだけ不安いっぱいな給食が提供されていると言っても過言では無いと思います！最近の子供たちはアレルギーやアトピー体質の子供たちが非常に多いですが、これらは食の変化にあると思います。せめて学校給食だけでもまともな物を食べさせてもらえたら、もっと子供たちの体質は改善されると思います。

一人ひとりが自分らしく輝ける社会づくり

番号	年代	テーマ	ご意見
20	30代	次期「総合計画」	徳島県が、アイスランド、フィンランド、ノルウェー、スウェーデン、アイスランド、スイス等の男女共同参画社会立国を見習って「男女共同参画社会立県 とくしま」になる。
21	30代	次期「総合計画」	徳島県が女性の高度人材(博士号の学位を有する女性・女性の医師・女性の歯科医師、女性の薬剤師・女性の獣医師・女性の辯護士・女性の不動産鑑定士・女性の公認会計士・女性の税理士・女性の一級建築士・女性の弁理士・女性の技術士・女性の中小企業診断士・女性の社会保険労務士)の人材育成を行う。
22	30代	次期「総合計画」	徳島県が男女共同参画社会の観点から徳島県副知事に財務省・経済産業省・総務省・国土交通省・警察庁等から女性官僚を招聘する。

グリーン社会の構築

番号	年代	テーマ	ご意見
23	40代	グリーン社会の構築	資源の少ない日本はより水素社会実現に向けた取り組みや規制緩和をしていくべきだと考えます。水素を利用した火力発電を四国電力や日本の企業と一緒に取り組み研究開発の後押しをお願いします。例えば民間企業から副産物として出た水素を輸送なくパイプでつなぎ二酸化炭素を出さない輸送コストのかからない方法での発電を実現するなど
24	50代	脱炭素社会への早期転換	電動バイクの利用促進、公共交通機関をもっと利用しやすくして車の利用を少なくするなどして欲しい。公共施設への太陽光パネルなどは県有施設のみならず災害時の避難場所には必ず設置していただきたいと思っています。
25	50代	循環型社会構築の推進	ごみ処理の広域化とよく耳にしますが、財政面だけをみて広域化といわれてないでしょうか？ご存じの通りごみの処理の基本は自分で出したごみは自分で処理が基本だと思いますし、燃やすことを前提として考えるのではなくまずは3Rを協力的に進めるべき。全国平均より低いリサイクル率や一人当たりの排出量が全国より多いなかでの広域化はあり得ないとおもいます。また、脱炭素社会を考えてもわざわざ遠いところをバッカ一車で運んでいくなんてことは違うと思います。徳島には上勝町という全国から視察に訪れる地域があります。以前知事も言ってましたが、なぜ水平展開出来ないのか？水平展開すれば徳島にとって新たな観光資源となるのではと思います

グリーン社会構築

番号	年代	テーマ	ご意見
26	60代	次期「総合計画」 脱炭素社会への早期転換	我が家は今年6月に太陽光発電パネルを設置しました。市の補助金について広報に載っていたので電話すると、市内の業者に限るとのこと、設置したのは北島町の業者で補助金交付には該当しないとのことでした。市内の業者に依頼すると5万円以上の高額の費用になります。活用できる支援策にして欲しいです。移動手段を自転車に転換するには、自転車専用道の整備が不可欠です。歩道を走る自転車と歩行者とのトラブルや事故が発生します。先日歩道を歩いていると、後ろから来た自転車の男性から「もっと端に寄れ」と怒鳴られました。
27	30代	次期「総合計画」	徳島県が緑を増やし 守る「グリーンビズ」を推進する。
28	30代	次期「総合計画」	徳島県が徳島県のゴミ問題(ゴミの不法投棄・ゴミのポイ捨て)を根本的に解決して「ゴミが落ちていない 美しい徳島県」を作り上げる
29	40代	徳島県の未来の為に お願いしたいこと①	気候変動(地球温暖化)に対して県民が一致団結して取り組む。生活の土台としてある気候がおかしくなって来ている。今年の猛暑でも分かるように、このままでは仕事や学校はおろか、普段の生活までも影響が出て、人間としての活動が出来なくなる。徳島県だけの問題では無く地球全体の問題ではあるが、徳島県が世界をリードするぐらいの勢いでやってもらいたい！例えば太陽光発電の促進や再生可能エネルギーの推進。またEV自動車やエコキュート・IHなどへの助成。行政から民間企業、また一般家庭まで出来る事はかなりあります！やり方が分からなければそれらの専門家を招いてやる。徳島県にも専門家はいます！早急に行って頂きたい施策です。
30	60代	4.グリーン社会の構築 (2)循環型社会構築の推進 (3)良好な水環境づくりの推進について	海洋プラスチック汚染について書かれていますが、ケンチョピアの小型船舶に発泡スチロール製のフイが繋がれている船舶が見られます。また「繋がる海の駅・川の駅」の浮桟橋にも使われております。 ひょうたん島クルーズの新町川水際公園内の桟橋にもオレンジ色の浮きが設置されていて、外側のビニール製の覆いがはがれて中から発泡スチロールがのぞいていました。 東沖洲の南側の岸(西側の南沖洲に面した)に繋がれている小型船舶にも発泡スチロール製のフイが見られ、それが破損したものが護岸に打ち上げられていました。 ケンチョピアの件で、県に問い合わせると運輸政策課の方が、「発泡スチロール製のフイを使って良いか悪いかの見解は県には無い。所有者の問題です。」と言われましたが、そんな姿勢では汚染は防げません。船舶の問題も取り上げてほしいと思います。
31	60代	4.グリーン社会の構築 (2)循環型社会構築の推進	資源循環型実現のために「ごみ処理広域化」を掲げられていますが、広域化では住民のごみ減量の意識が低下し、減量が進みにくくなります。ごみの減量にはきめ細やかな施策が必要であり、住民の協力は進みません。住民参加のシステムが機能しにくくなり、行政に任せきりになるということが増えてきます。 ごみ処理の基本は第一に3Rの推進であり、ごみの減量ことが最も急がれるのに、それについて一言も触れられていなくて、残念です。 政策の方向性として「都市鉱山といった技術革新を活かし、家庭ごみやし尿の資源循環利用を推進」とあるが、これは県内の廃棄物の焼却灰を一ヶ所に集めて灰溶融し、金属やリンを取り出す灰溶融施設建設を想定しているのではないかと危惧しています。溶融は1300℃以上の超高温で加熱するため、CO2排出量が非常に大きく、温暖化を促進します。県内の焼却灰を一ヶ所に集める為に、交通量の増加や危険な溶融飛灰の県外製錬所への輸送の心配も伴います。もし灰溶融による金属、リンの資源循環をお考えならば、止めて欲しいと思います。数百億円の建設費用もかかってきます。
32		循環型社会構築の推進について	都市鉱山化の技術革新?として、溶融処理の宣伝がありますが、熱処理で灰にしてから、重金属をとり出すやり方では、コスト、燃料代が高くなり、CO2の排出も多くなります。 大量生産、大量消費、環境に大きな負担となる人間の行き過ぎた経済活動が資源枯渇の原因です。これからの時代は、物を大切に長く使い続けるシステムが必要です。電化製品なども、一部が壊れただけですぐに新しい物を買わず、修理して使えるようになれば、ごみ処理費用が減り、税金のムダ使いが改善されます。環境にやさしい政策をお願い致します。

グリーン社会の構築

番号	年代	テーマ	ご意見
33	70代以上		<p>循環型社会構築の為に最優先すべき課題は3Rの推進であり、ごみ減量こそが最も急がれます。その事について今後よろしくお願い致します。</p> <p>ごみ処理広域化では、ごみ減量の住民意識が低下し、減量が進みにくくなります。住民参加のシステムが採用されにくく、行政に処理を任せきりになりやすくなります。</p> <p>「都市鉱山といった技術革新を活かし、家庭ごみやし尿の資源循環利用を推進します」とは、廃棄物の焼却灰を一か所に集めて灰溶融し、金属やリンを取り出す灰溶融施設の建設を想定しているのなら止めてほしいと思います。溶融は1300℃以上の超高温で加熱する為、CO2排出量が非常に大きく、温暖化を促進します。</p>
34	70代以上		<p>人類は廃棄物（気体、液体、個体）から減びるのではないかと。国の方針、法律や施行令、補助金誘導に惑わされず、持続可能な社会を創造し、正しい知識を持ち、廃棄物が出ない政策を「環境にやさしい資源循環型社会」21世紀（環境の世紀）をリードする徳島県に方向転換することで観光客も増えます。</p>
35	70代以上		<p>国策で進めてきた林業は、「山は緑で大地は砂漠」表土は流出、動植物の生存の場が少なくなり、イノシシやシカが農地、人家周辺に出没し、人その他の動植物との共存が難しくなり、国土が荒廃、保水カダム機能は低下しています。縦割り行政を打破し、流域森林管理計画を策定し流域ごとに施業計画を立て人工林の計画的な伐採、木材利用による流域治水計画と実施をするべく方針転換を求めます。保安林規制の緩和による自然林を増加させ、多様な動植物の生存の場を拡大して、総合的な流域治水政策に転換してください。</p> <p>これからの国土（森林や農地）を適正に管理する仕組みを作り、農山村を元気に後継者が生活できる経済と環境の好循環型社会を築く政策転換をぜひ実現させてください。</p>

健康づくりの推進と医療・介護・福祉の充実

番号	年代	テーマ	ご意見
36	50代	医療問題	<p>徳島県は、医師が徳島市周辺に偏っている。県が、派遣会社と直接交渉し、医師の人材バンクを作り、地方に派遣したらいいと思う。</p>

危機管理体制の充実と県土強靱化の推進

番号	年代	テーマ	ご意見
37	30代	次期「総合計画」	<p>徳島県が国の政府機関となる防災庁又は危機管理庁を徳島県に開設する。</p>
38	30代	次期「総合計画」	<p>徳島市内に首都高速道路の都心環状線、阪神高速道路の大阪環状線のような徳島環状高速道路を作る。</p>
39	30代	次期「総合計画」	<p>徳島県が治山・利水の観点から吉野川第十堰の可動堰化と細川内ダムの建設を行う。</p>
40	60代	次期「総合計画」 防災について	<p>ケンチョピアには100隻以上のヨット等の小型船舶が係留しています。徳島市を代表する景観として徳島市のホームページにも紹介されていますが、南海トラフ津波発生時には非常に危険です。狭い川に沢山の船舶が転覆したり、護岸を越えて市街地に押し寄せたりすると、災害規模が非常に大きくなります。津波災害時に船舶は引き潮で一旦沖に出て、上げ潮でスピードを付けて岸壁に押し寄せるパターンが紹介されていました。市内中心部の商業地・住宅地から離れた場所に移動していただきたいとします。</p>

観光立県の推進～徳島観光復活ビッグバン～

番号	年代	テーマ	ご意見
41	30代	次期「総合計画」	徳島県がドイツ連邦共和国のバーデンバーデンをモデルケースにして、健康保養型のIR統合型リゾートを開業する。(国際会議場、リゾートホテル、レストラン、クアハウス、ショッピングモールなど)
42	30代	次期「総合計画」	徳島県を「日本のハリウッド」にする。
43	60代	大鳴門橋自転車道について	自転車道のみでなく、しまなみ海道みたいに原付二種まで使用出来るように検討してください
44	30代	次期「総合計画」	徳島小松島港沖洲埠頭と関西国際空港とを結ぶ徳島・関空ホバークラフトの運航開始⇒大分空港ホバークラフト
45	30代	次期「総合計画」	徳島=東京羽田線における国内航空便のシャトル便化の実施を行う。
46	30代	地方創生戦国時代に徳島が勝ちに行くために	徳島小松島港の港湾管理者たる徳島県が「港湾法2条2号」に基づいて国土交通省港湾局から「国際拠点港湾」の認定を受ける⇒海外の大型クルーズ旅客船の誘致の促進、新規の国際貨物コンテナ航路の就航など
47	30代	次期「総合計画」	徳島県がテーマパークを誘致開業する。
48	50代	関空ーマリンピア高速船	『徳島新未来創生』政策集の観光立国について、とりあえず関空からマリンピアへの高速船を復活してほしいです。きっと関空に着いた海外からの観光客が徳島に来るようになると思います。
49	40代	阿波踊りについて	今徳島市が主体となって行われている阿波踊りが迷走しています！徳島県も補助金を出しているのだから、もっと介入して行って正常化して欲しいです！そうすれば、徳島市政ももっと良くなって来ると思います！

文化芸術の振興

番号	年代	テーマ	ご意見
50	30代	次期「総合計画」	徳島交響楽団をプロの交響楽団にする。そして、新ホールを徳島交響楽団の演奏活動拠点にする。 ※札幌交響楽団、山形交響楽団、群馬交響楽団、東京都交響楽団、大阪交響楽団、広島交響楽団など
51	30代	次期「総合計画」	徳島県が新ホールを「徳島県のランドマークとなる施設」並びに「徳島県の芸術文化の殿堂となる施設」する。 ⇒目標とするのは、ニューヨークのカーネギー・ホールとする。

スポーツ立県の推進

番号	年代	テーマ	ご意見
52	30代	次期「総合計画」	徳島県が「自転車王国 とくしま」になる。
53	70代以上	和船文化体験センターの建設	スポーツで勝負を競い、技量の向上をはかるのもよいのですが、こだわり過ぎる嫌があります。海上に目を向ければ、県ではカヌーやSUPに力を入れていますが、本来、運搬や漁労に使われた実用的な櫓こぎの技があります。歴史的にも木橋が少なかった時代から、渡し舟として使われていました。 この櫓を漕ぐのには、一朝一夕にはいきませんが、老若男女が習得すれば、ウォーキングやジョギングなみのエネルギー消費となる日本が誇るべき技です。格好のスポーツともなり、引きこもりや登校拒否が目立つ昨今では、呉越同舟ではありませんが、協調性を養う生涯教育に取り入れられてもよいのではないのでしょうか。 そこで、このような櫓や櫂、棹、帆の操作を教える「和船文化体験センター」をぜひ計画していただきたいと思います。

攻めの農林水産業

番号	年代	テーマ	ご意見
54	50代	攻めの農業に関して	農業生産者として感じていること。後継者不足。環境の変化が著しく生産が安定しない。生産に必要な費用(人件費込み)が高騰しており先行きに不安があります。政策集で新たなチャレンジや攻めの農林水産業と書かれていますが、今は生産基盤を築くことが一番大事だとも思います。攻めの農業でなく基盤のしっかりした農業、今の時代に合わせた農業の生産を県下で進めていくことこそが攻めの農業であるとも思えます。アピールはある程度必要なことではありますが、イメージを裏切る生産物は逆に徳島県の農産物の魅力を半減することになると思います。イメージ戦略より農家さん自身がみどり食料システム戦略を理解し、実践していくこと県も協力
55	50代	農林水産業	もっと農家さんに説明して農家さんからの意見も聞いて欲しい。みどり戦略も地域で話し合う場もなくいつの間にかモデル地域が策定されている。農家には権利がないのか疑問。申請までに時間がないとかでなく真剣に農家と議論する場所が必要だと思います。

地域経済を牽引する企業の成長と新産業の創生

番号	年代	テーマ	ご意見
56	30代	次期「総合計画」	徳島県に「徳島経済技術開発国家戦略特区」を創設して、海外の資本、海外の高度人材(博士号の学位を有する外国人など)、海外からの高度先端技術(航空宇宙産業・次世代半導体産業など)、高度最新情報を徳島県に呼び込んで、徳島県の国際経済競争力を強化する
57	30代	次期「総合計画」	徳島県を「日本のシンガポール」にする。
58	30代	次期「総合計画」	徳島県が三菱商事の協力を得て「徳島県庁における総合商社化」を推進する。徳島県に三菱商事のICTサテライト・オフィス徳島事務所を開設する。徳島県が三菱商事の三綱領「所期奉公・処事光明・立業貿易」を県政運営に取り入れる。
59	30代	次期「総合計画」	徳島県が「徳島県版ニューディール政策」の経済政策を発動する。
60	30代	次期「総合計画」	徳島県が米Google、米bing、米Yahoo!等のICT関連企業の企業立地を行う
61	30代	次期「総合計画」	徳島県がGMOインターネットグループ会社を徳島県に企業立地を行う。
62	30代	次期「総合計画」	徳島県が三菱ケミカルホールディングスグループの半導体材料製造工場の徳島県への企業立地を行う。

国内外から選ばれる魅力的な地域づくり

番号	年代	テーマ	ご意見
63	30代	次期「総合計画」	徳島県が「地上の楽園」になる。
64	30代	次期「総合計画」	東京一極集中主義を打破する。徳島県が日本国の副首都になる。関係交流人口の拡大
65	30代	次期「総合計画」	徳島県にTBSテレビの直轄のJNN系列のテレビネット局の開局、フジテレビジョン直轄のFNS系列のテレビネット局の開局、テレビ朝日直轄のANN系列のテレビネット局の開局を行う。
66	30代	次期「総合計画」	徳島県がデジタル6Gに対応する「徳島県全県ICTデジタル6G 光の道・情報スーパーハイウェイ」の新たな情報通信基盤整備の構築を行う。
67	30代	次期「総合計画」	徳島県がICTデジタル先進国のデンマーク、カナダ、シンガポール、アメリカ、イギリス、イスラエル、エストニアを見習って、徳島県が「ICTデジタル先進県」になる。⇒AI・IoT・ビッグデータ・Web3.0・IOB・DOT・MaaS・6G・8Kなど

国内外から選ばれる魅力的な地域づくり

番号	年代	テーマ	ご意見
68	30代	次期「総合計画」	徳島県が徳島県一人一人が「住んで良かった住みやすい ふるさと徳島県」、「人に誇れる ふるさと徳島県」、「人に語れる ふるさと徳島県」が実感できる具体的な政策の実行で定住の促進を図る。
69	40代	中心市街地	街づくり最大のネックになってる鉄道高架について記述がなく期待できない。高架するのか、それとも中止した上で街づくりをするのか白黒つける必要がある。放置するなら前知事と同じで不誠実。変わらない街に県民はうんざりしている。
70	20代	次期「総合計画」	FMびざんを独立FM局にする。⇒全国の独立FM局は、J-WAVE、FM802、CROSSFM、α-STATION、ZIP-FMなど
71	30代	次期「総合計画」	徳島県がKDDI四国総支社のICTサテライト・オフィス徳島事務所の誘致をする。
72	40代	持続可能な地域交通	課題は、鉄道が人口の集まる地域をとおらず活用しきれていない。結果自家用車移動が主体となり、渋滞が多発。政策の方向性は、新たに建設される新幹線駅を軸に、県内主要都市を直線的に接続する鉄道網を再編する。自家用車から鉄道へのモーダルシフトにより、渋滞を緩和。
73	70代以上		世界人口は急増、徳島県（日本）は急降下している。人口減少は地域や国を衰退させ国力が低下します。今回の政策集では少子化にストップがかかるとは思えません。どうすれば少子化から増子化に転じることができるか。現場の実態を調査見聞し増子化政策を最優先課題とすべきです。高齢化は防ぐことができませんが少子化は教育次第で防ぐことができます。

開かれた県政運営の推進

番号	年代	テーマ	ご意見
74	30代	次期「総合計画」	徳島県が市町村単位で対話形式による「タウン・ミーティング」、「県政懇話会」、「県政懇談会」を開催する。

持続可能な財政運営の推進

番号	年代	テーマ	ご意見
75	50代	県予算の流れを循環サイクルにする。	年度予算を使い切りにせず、テーマパーク運営のように必要な場所をゾーンに区切って全県民に見える化する。どこを改修して、何を改め、何を止めて、徳島県の個性を引き出し残していくのか？人口が縮小した状態のデータを基に全県民と目的とヴィジョンを共有する。